



### 地区別座談会

## 管内各地で開かれる

多数いただいたご意見・ご要望の一部を紹介させていただきます。

**Q.** 基本方針の中での生産資材コスト削減について具体的な内容を知りたい。

**A.** スケールメリットを生かした予約購買の推進及び大型車で直送等を行い、コスト削減を行います。

**Q.** 農業基本法は国外でなく国内へ助成するよう県や国へ働きかけて頂きたい。畜産関係では飼料高騰で厳しく酪農家数も減少している状況。酪農家が継続できるよう応援していただきたい。

**A.** 農業基本法については大変危惧しています。国産国消が進んでいければ理想であり、畜産経営の支援については昨年末に国へ要望に行っています。今後も継続していきます。



**Q.** 本年度、農協の経営利益が出たと思うが、組合員に還元する方法はあるのか。

**A.** 現在、決算事務をしており最終的な確定値は出ておりませんが、利益が出た際は出資配当で還元できればと思います。

**Q.** 賦課金の請求対象は？賦課金の用途は？

**A.** 正組合員1戸当たり千円を賦課しています。農業の米麦振興費・青年部・女性部の活動費や農業まつり助成等、指導事業に充てています。

**Q.** 酪農の離農についてJAとして何か対策はあるのか。

**A.** 管内でも5軒ほど離農されています。飼料高騰などが大きく影響しています。国の補填や補助などを活用し、対策を検討します。

**Q.** 2024年問題（輸送コスト）についてJAとして危惧している点や対策等はあるのか。

**A.** 輸送車両が効率よく運行できるよう荷待ち、荷受けの時間の効率化を検討しています。運送会社とも協議連携するとともに、国会議員に陳情など進めていきたいと思えます。場合によっては運賃の値上げも避けられないですが、生産者と協議しながら対応します。

### 青果物販売促進会議

## 販売目標の達成目指す

JA利根沼田園芸委員会は3月18日、沼田市内で令和6年度青果物販売促進会議を開き、関係者ら103人が参加しました。

会議では、令和6年度の販売事業計画と農業振興方針、基本目標を示したほか、優良生産者と優良卸売会社の表彰が行われました。



表彰された優良生産者

### JA利根沼田こめ生産部会通常総会

## JA米の栽培に向けて

JA利根沼田こめ生産部会は3月19日、本店で令和5年度通常総会を開きました。部会員や関係者ら41人が参加し、全ての議案が承認されました。総会終了後には、利根沼田農業事務所の泉野智技師を講師に水稻の高温障害対策講習会が行われ、安心・安全なJA米の栽培に備えました。



議案を確認する部会員